

リグニンの重合メカニズムと 化学構造について

オンライン
(zoom)開催



ご登録はこちら

参加費
無料

2024年11月27日(水) 12:30~13:20

Associated
Mission

Mission2

太陽エネルギー変換・高度利用

Keyword

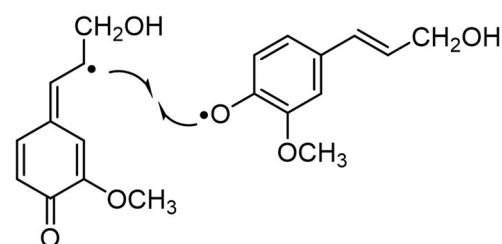
- ◇ モノリグノール
- ◇ 脱水素重合
- ◇ ラジカルカップリング

岸本 崇生

生存圏研究所
教授



植物細胞壁を固める成分であるリグニンは、モノリグノールの脱水素重合(ラジカルカップリング)により生成する、地球上で2番目に多い天然高分子です。しかし、モノマー単位や単位間結合の配列の順序など、化学構造の詳細は未解明のままであり、有効利用が遅れています。リグニンの利用にはその構造への深い理解が欠かせません。リグニンが、どのようなメカニズムでモノマー単位から重合していくのか、そしてどのような化学構造をしているのか、人工的にリグニンのモノマーを重合させ、樹木などのリグニンと比較しながら、その解明に取り組んでいます。基本的なところから、最近わかったことまで、取り組んでいる研究を紹介します。



モノリグノールのラジカルカップリング

定例オープンセミナーは、生存圏の様々な研究を相互に理解すべく、ランチタイムに気軽に行っている講演会です。*不定期水曜日開催

https://www.rish.kyoto-u.ac.jp/open_seminar_2022/

お問い合わせ 京都大学生存圏研究所定例オープンセミナー事務局
TEL : (0774)38-4609

